

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年6月2日

【四半期会計期間】 第68期第3四半期(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

【会社名】 株式会社 A . C ホールディングス

【英訳名】 A . C HOLDINGS Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 金井 壮

【本店の所在の場所】 東京都港区芝大門一丁目2番1号

【電話番号】 03(5473)7722

【事務連絡者氏名】 経理事務連絡担当 平林 友伸

【最寄りの連絡場所】 東京都港区芝大門一丁目2番1号

【電話番号】 03(5473)7722

【事務連絡者氏名】 経理事務連絡担当 平林 友伸

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成25年8月14日に提出いたしました第68期第3四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表については、監査法人まほろばにより四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式データ一式(表示情報ファイルを含む)を提出いたします。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュフローの状況の分析

第4 経理の状況

2. 監査証明について

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

注記事項

(1 株当たり情報)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は___を付して表示しております。

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

(訂正前)

回次	第67期 第3四半期 連結累計期間	第68期 第3四半期 連結累計期間	第67期
会計期間	自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日	自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日	自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日
売上高 (千円)	2,378,487	2,365,808	3,284,114
経常損失() (千円)	<u>423,904</u>	<u>159,552</u>	<u>491,847</u>
四半期(当期)純損失() (千円)	<u>375,212</u>	<u>73,918</u>	<u>612,399</u>
四半期包括利益又は 包括利益 (千円)	<u>354,763</u>	<u>10,451</u>	<u>598,408</u>
純資産額 (千円)	<u>7,648,980</u>	<u>7,394,883</u>	<u>7,405,335</u>
総資産額 (千円)	<u>8,850,864</u>	<u>8,461,217</u>	<u>8,631,311</u>
1株当たり四半期(当期)純損失 金額() (円)	<u>9.29</u>	<u>1.83</u>	<u>15.14</u>
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	<u>86.4</u>	<u>87.4</u>	<u>85.8</u>

回次	第67期 第3四半期 連結累計期間	第68期 第3四半期 連結累計期間
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日
1株当たり四半期純損失金額() (円)	<u>0.17</u>	<u>1.16</u>

(訂正後)

回次	第67期 第3四半期 連結累計期間	第68期 第3四半期 連結累計期間	第67期
会計期間	自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日	自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日	自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日
売上高 (千円)	2,378,487	2,365,808	3,284,114
経常損失() (千円)	403,212	154,762	460,642
四半期(当期)純損失() (千円)	354,821	69,128	581,195
四半期包括利益又は 包括利益 (千円)	333,027	2,416	566,894
純資産額 (千円)	7,577,202	7,340,918	7,343,335
総資産額 (千円)	8,779,087	8,407,252	8,569,311
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期(当期) 純損失金額() (円)	8.77	1.70	14.37
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	86.3	87.3	85.7

回次	第67期 第3四半期 連結累計期間	第68期 第3四半期 連結累計期間
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額() (円)	0.07	1.07

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績の分析

(訂正前)

(1) 経営成績の分析

<省略>

経常損益に関しましては、当第3四半期連結会計期間に持分法による投資損失2百万円が発生し、当第3四半期連結累計期間における持分法による投資損失は4百万円計上いたしました。

<省略>

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高23億65百万円(前年同四半期売上高23億78百万円)、営業損失1億78百万円(前年同四半期営業損失2億35百万円)、経常損失1億59百万円(前年同四半期経常損失4億23百万円)、四半期純損失73百万円(前年同四半期 四半期純利益3億74百万円)となりました。

(訂正後)

(1) 経営成績の分析

<省略>

経常損益に関しましては、当第3四半期連結会計期間に持分法による投資利益1百万円が発生し、当第3四半期連結累計期間における持分法による投資損失は1百万円計上いたしました。

<省略>

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高23億65百万円(前年同四半期売上高23億78百万円)、営業損失1億78百万円(前年同四半期営業損失2億35百万円)、経常損失1億54百万円(前年同四半期経常損失4億3百万円)、四半期純損失69百万円(前年同四半期 四半期純利益3億54百万円)となりました。

(訂正前)

(2)財政状態の分析

資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億70百万円減少し、84億61百万円となりました。

流動資産は6億34百万円減少し44億64百万円、固定資産は8億4百万円減少し39億96百万円となりました。

<省略>

固定資産の減少の内訳は、有形固定資産の減少7億17百万円、無形固定資産の減少2百万円、および投資その他の資産の減少84百万円であります。このうち、有形固定資産減少の主な要因は、賃貸用不動産及び福島空港GOLF CLUBの土地・建物の譲渡により建物及び構築物が2億8百万円減少し、土地が5億17百万円減少したことによります。投資その他の資産減少の主な要因は、貸倒引当金が25百万円増加し、長期貸付金が22百万円減少したことによります。

<省略>

純資産

当第3四半期連結会計期間の純資産合計は、前連結会計年度に比べて10百万円減少し、73億94百万円となりました。

(訂正後)

(2)財政状態の分析

資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億62百万円減少し、84億7百万円となりました。

流動資産は6億34百万円減少し44億64百万円、固定資産は7億96百万円減少し39億42百万円となりました。

<省略>

固定資産の減少の内訳は、有形固定資産の減少7億17百万円、無形固定資産の減少2百万円、および投資その他の資産の減少76百万円であります。このうち、有形固定資産減少の主な要因は、賃貸用不動産及び福島空港GOLF CLUBの土地・建物の譲渡により建物及び構築物が2億8百万円減少し、土地が5億17百万円減少したことによります。投資その他の資産減少の主な要因は、関係会社株式が45百万円増加し、貸倒引当金が25百万円増加し、長期貸付金が22百万円減少したことによります。

<省略>

純資産

当第3四半期連結会計期間の純資産合計は、前連結会計年度に比べて2億41百万円減少し、73億40百万円となりました。

第4 経理の状況
(訂正前)

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成24年10月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表については、監査法人まほろばによる四半期レビューを受けております。

(訂正後)

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成24年10月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表については、監査法人まほろばによる四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出していますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、監査法人まほろばによる四半期レビューを受けています。

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(訂正前)

(単位 : 千円)

	前連結会計年度 (平成24年 9月30日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年 6月30日)
資産の部		
固定資産		
投資その他の資産		
関係会社株式	800,202	837,275
長期貸付金	343,350	309,150
その他	284,340	192,594
貸倒引当金	307,285	302,987
投資その他の資産合計	<u>1,120,607</u>	<u>1,036,032</u>
固定資産合計	<u>4,801,521</u>	<u>3,996,647</u>
資産合計	<u>8,631,311</u>	<u>8,461,217</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,500,000	3,500,000
資本剰余金	5,650,811	4,577,779
利益剰余金	<u>1,093,658</u>	<u>94,545</u>
自己株式	604,076	604,077
株主資本合計	<u>7,453,076</u>	<u>7,379,156</u>
その他包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	<u>22,105</u>	<u>55</u>
為替換算調整勘定	<u>25,635</u>	<u>15,782</u>
その他包括利益累計額合計	<u>47,740</u>	<u>15,727</u>
純資産合計	<u>7,405,335</u>	<u>7,394,883</u>
負債純資産合計	<u>8,631,311</u>	<u>8,461,217</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 9月30日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成25年 6月30日)
資産の部		
固定資産		
投資その他の資産		
関係会社株式	738,202	783,310
長期貸付金	343,350	309,150
その他	284,340	192,594
貸倒引当金	307,285	302,987
投資その他の資産合計	<u>1,058,606</u>	<u>982,067</u>
固定資産合計	<u>4,739,520</u>	<u>3,942,682</u>
資産合計	<u>8,569,311</u>	<u>8,407,252</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,500,000	3,500,000
資本剰余金	5,650,811	4,577,779
利益剰余金	<u>1,158,130</u>	<u>154,227</u>
自己株式	604,076	604,077
株主資本合計	<u>7,388,605</u>	<u>7,319,475</u>
その他包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	<u>22,106</u>	<u>56</u>
為替換算調整勘定	<u>23,102</u>	<u>21,500</u>
その他包括利益累計額合計	<u>45,268</u>	<u>21,444</u>
純資産合計	<u>7,343,335</u>	<u>7,340,918</u>
負債純資産合計	<u>8,569,311</u>	<u>8,407,252</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第 3 四半期連結累計期間

(訂正前)

(単位 : 千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年10月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年10月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
営業外収益		
受取利息	9,597	5,576
受取配当金	63	69
受取給付金	1,815	1,924
投資不動産賃貸料	26,517	10,095
貸倒引当金戻入額	1,645	-
その他	28,772	20,148
営業外収益合計	68,413	37,814
営業外費用		
持分法による投資損失	214,594	4,369
投資不動産賃貸費用	33,917	10,368
その他	7,946	3,777
営業外費用合計	256,458	18,515
経常損失 ()	423,904	159,552
税金等調整前四半期純損失 ()	370,181	71,469
四半期純損失 ()	375,512	73,918

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)
営業外収益		
受取利息	9,597	5,576
受取配当金	63	69
受取給付金	1,815	1,924
持分法による投資利益	-	420
投資不動産賃貸料	26,517	10,095
貸倒引当金戻入額	1,645	-
その他	28,772	20,148
営業外収益合計	<u>68,413</u>	<u>38,232</u>
営業外費用		
持分法による投資損失	193,903	-
投資不動産賃貸費用	33,917	10,368
その他	7,946	3,777
営業外費用合計	<u>235,766</u>	<u>14,145</u>
経常損失()	<u>403,213</u>	<u>154,762</u>
税金等調整前四半期純損失()	<u>349,490</u>	<u>66,679</u>
四半期純損失()	<u>354,821</u>	<u>69,128</u>

四半期連結包括利益計算書
第 3 四半期連結累計期間

(訂正前)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年10月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年10月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
	(単位：千円)	
四半期純損失 ()	375,512	73,918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,650	22,025
持分法適用会社に対する持分相当額	17,099	41,442
その他の包括利益合計	20,749	63,467
四半期包括利益	354,763	10,451
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	354,763	10,451

(訂正後)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年10月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年10月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
	(単位：千円)	
四半期純損失 ()	354,821	69,128
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,650	22,025
持分法適用会社に対する持分相当額	18,144	44,687
その他の包括利益合計	21,794	66,712
四半期包括利益	333,027	2,416
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	333,027	2,416

(1株当たり情報)

(訂正前)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額()	9円29銭	1円83銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額() (千円)	375,512	73,918
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る 四半期純損失金額() (千円)	375,512	73,918
普通株式の期中平均株式数 (千株)	40,442	40,442

(訂正後)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額()	8円77銭	1円70銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額() (千円)	354,821	69,128
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額 () (千円)	354,821	69,128
普通株式の期中平均株式数 (千株)	40,442	40,442

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年6月2日

株式会社A.Cホールディングス
取締役会 御中

監査法人 まほろば

指定社員	公認会計士	土屋 洋泰
業務執行社員		
指定社員	公認会計士	赤坂 知紀
業務執行社員		

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社A.Cホールディングスの平成24年10月1日から平成25年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年10月1日から平成25年6月30日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社A.Cホールディングス及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成25年8月8日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。